

⑦ 盆栽で「おもてなし」

JR東日本を退職した平成15年4月に東日本鉄道OB会に入会し、高崎地方本部佐野支部に所属しています。

平成17年には支部理事、同19年には副支部長を拝命。この間、会員相互の交流促進、健康で生きがいの感じられるさまざまな活動に取り組んでいます。現役時代には管理職を経験したこともあり、JR東日本に対する増収活動などにも力を入れてきました。

地域と共生

日本鉄道OB会

この間、OB会活動とは別に、「栃木市シニアむつみ会」にも入会。平成28年からは会

てた盆栽は70〜80鉢におよびます。サツキは初心者でも無理なく育てられることで有名で

長として地元小学校はじめ、公民館などの公共施設での花壇整備、児童通学路などでの「花いっぱい運動」も行っていきます。

趣味はサツキ(卓月)盆栽。私自身で育

す。その名の通り、毎年5月には開花した鉢植えを地域のコミュニティセンターやJR両毛線足利駅ホームなどで展示するようになります。とりわけ足利駅では観光・レシ



JR足利駅ホームに盆栽を展示する黒田さん

ヤー目的で訪れたお客さまへの「おもてなし」として、大変喜ばれていると伺っています。

昨年は、これまでの活動に対し、自治会特別功労賞もいただきました。

(東日本鉄道OB会 高崎地方本部佐野支部 黒田富夫 80)

⑧ 地域の魅力を発信

富山県氷見市に生まれ育って75年。JR西日本を退職後「地域に貢献できることはないか」と考えていたところ、氷見市観光協会の「観光ガイド募集」の記事が目止まり、平成21年に入会しました。

氷見市観光ボランティアガイドグループの名称は「つままの会」。万葉集にも登場する「タプノキ」の別名「つまま」から命名したそうです。昭和63年設立。24人の会員が在籍し、市民の皆さんと

地域と共生

日本鉄道OB会

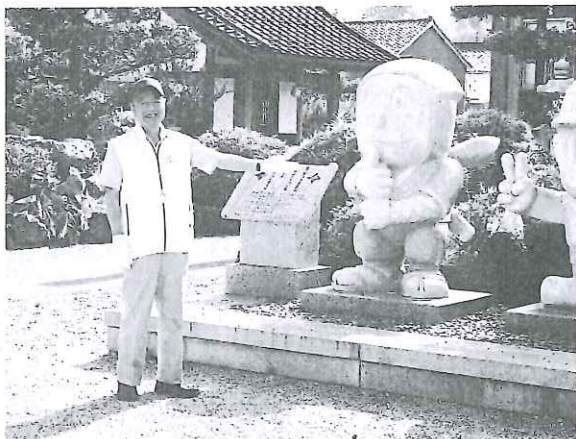
交流を図りながら観光活性化などに努めています。

一方、氷見市といえば漫画家・藤子不二雄

JR西日本では4年前から城端線・氷見線を走る観光列車として「ベル・モンスター・エ・メール(べるも

さんの生誕地でもあることから、商店街に配置されているキャラクターの清掃作業、ギヤラリーの受け付けなどにも取り組んでいます。

観光ガイドとしての基本はガイドブックに掲載されていないス



氷見市の魅力を紹介する山下さん

ポット、イベントを紹介することです。観光協会職員はじめ漁師さんらと情報交換を行いながら、知られざる氷見の魅力を発信していきたいと思えます。

(西日本鉄道OB会 金沢地方本部高岡支部 山下勝美、75)